

# 女性の回復

旧約聖書入門のおまけ 1  
アドベント第1週 2012/12/2

# エバの失敗

- アダムを「助ける者」として創造されたエバ
  - 「主なる神は言われた。『人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。』」 創世記2:18
- 蛇に誘惑され、神様に食べてはならないと命じられていた木の果実を食べたエバ
  - 「蛇は女に言った。『決して死ぬことはない。それを食べると、目が開け、神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ。』」 3:4
- エバは夫アダムにも渡し、アダムも食べた
  - 「女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。」 3:6

# 女性に下された裁き

## ○ 出産の苦しみ

- 「神は女に向かって言われた。『お前のはらみの苦しみを大きなものにする。お前は、苦しんで子を産む。』」 3:16
- 産みの苦しみは女性が失敗した証拠となった！

## ○ 女性は弱さと不従順の象徴となってしまった

- 「エバが蛇の悪だくみで欺かれたように、あなたがたの思いが汚されて…」 2コリント11:3

## ○ 男性による支配

- 『お前は男を求め／彼はお前を支配する。』
- イスラエル社会は完全な男尊女卑だった
- 人口・祭司・王は男性だけ

# 出産の意味を変えたマリア

- 主なる神は一人の女性(マリア)によって、独り子なる神をこの世に送られた
  - 他にいくらでも方法はあったはずだが…
- マリアがイエス・キリストを産むことにより、出産は失敗の証拠から、恵みの証拠となった
  - 「天使は、彼女のところに来て言った。『おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。』」ルカ1:28
  - 「あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。」1:31
  - 祝福され、恵まれたのはマリアだけではなく、すべての女性たちである

# 従順の模範となったマリア

## ○ ヨセフは身ごもったマリアを離縁しようとした

- 「母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。」マタイ1:18-19

## ○ マリアは自分の身に起こったことを喜び、神を讃えた

- 「身分の低い、この主のはしためにも目を留めてくださったからです。**今から後、いつの世の人にもわたしを幸いな者と言うでしょう、**力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。その御名は尊く…」ルカ1:48-49

## ○ マリアは父親のいない子を一人で育てる決意をした

- マリアは主に従う「従順の模範」となった

# 支配される対象から愛される対象へ

- マリアから産まれたイエス・キリストは、罪と死の支配から人類を解放した
  - 「キリスト・イエスによって命をもたらし霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。」ローマ8:2
- 男性も女性もすべての人は等しく神の子となった
  - 「あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。」ガラテヤ3:26
- 夫は妻を支配するのではなく、キリストの愛によって愛することが求められる
  - 「夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。」エフェソ5:25

# マリアを用いた女性の回復

産みの  
苦しみ

救い主  
の出産

産みの  
恵み

不従順の  
模範

御業の  
受容

従順の  
模範

支配され  
る対象

十字架  
による  
解放

愛され  
る対象

## ルカ福音書4:18-19

「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、圧迫されている人を自由にし、主の恵みの年を告げるためである。」